

助走 東京2020 本県有望選手たち

32

自転車競技

吉川 美穂 (26)

五輪に懸ける思いは人一倍だ。「見ているより出てなんぼ」。大阪育ちの関西人は純粋な思いに突き動かされてきた。

自転車トラック競技女子チームパシユート(団体追い抜き)日本代表の吉川美穂(26)。本県を活動拠点とするライブガーデン・ピ



トラックに完全シフト

チスデンレに所属し、1月高校3年の時。ソフトボーのアジア選手権で日本の銀メダル獲得に貢献。それでも「連係がかみ合っていない。わずかに数カ月後には、50分たちは強くない」と厳しく振り返る。

4人1組で先頭交代を繰り返しながら4キロを走り、

実業団チームでトラック選手として活動し、ジュニアオリンピックカップで優勝

勝するなど才能が開花。ロードレースでも頭角を現し始めた。2015年の国際自転車競技連合(UCI)公認レース「ツアー・オブ・タイランド」で総合5位。16年に現チームへ移り、トラックとロードの日本代表として活動してきた。

当初はロードでの東京五輪出場を見据え、スペイン現在12位で「もう1段階上

のペース強化が不可欠。もう後がない」。勝負のシーズンは10月、アジア選手権で幕を開ける。(三谷千春)

(隔週火曜掲載)

プロフィール

よしかわ・みほ 1993年生まれ。大阪府出身。和歌山北高卒。あさひレーシングを経て2016年からライブガーデン・ピチスデンレ所属。スペインの「ピスカヤ・ドウランゴ」と契約し、海外レースを転戦した。166センチ、60キロ。

「見ているより出てなんぼ」